

ゲッケイジュ(月桂樹) クスノキ科

ふやし方

盆栽仕立てにするのがコツ

挿し木で比較的簡単にふやすことができます。挿し木の適期は6～8月でその年に伸びた枝で虫などの付いていない元気なものを選び、先端から10から15cmの長さに切り、1時間ほど水につけて、水を吸わせた後に、それを小粒の赤玉土を入れた鉢に挿します。日陰の場所で乾かさないように管理し、根が出たら、それぞれをポットや小鉢に移して育てます。

枝ごと貰ってきて、ドライフラワーのように干しておくといいです。その時、**花輪リース**みた

いにしても可愛いです。日陰で風通しのよい所がいいです。部屋の空気を自然に浄化する。

必要な時に、必要な分だけ摘んで使用。

♪ 葉を収穫する ♪

常緑性の樹木ですので葉は一年を通して収穫することができます。収穫する葉は若い葉ではなく半年以上生長したものが適しています。前年、前々年の葉でもかまいません。

手入れとして1年に2～3回は枝を刈り込みますのでその時ついでによさげな葉をプチプチとちぎれば手間も省けます。収穫した葉水洗いして表面の汚れを落とし、ざるなどに 広げて乾燥させて空きビンや海苔の缶などの適当な容器に保存しておきましょう。

カレーやシチューなどの煮込み料理の香りづけの他にも防虫剤代わりに米びつやタンスに入れても効果があります。

季節、日常の手入れ

芽吹く力が非常に強く、枝の伸びる勢いも強いので年に2回から3回、枝を刈り込みます。刈り込みの適期は4月もしくは10月から11月です。特に細かく考えず、バランスを見ながら刈り込みます。多少短く刈り込んでも生育に支障は来しませんので、色々な仕立て方を楽しむことができます。枝はまっすぐ上に伸びる性質がありますので、円筒形や円柱形などのすらっとした仕立て方が一番簡単です。丸く刈り込んで仕立てることもできます。

枝が混み合うと風通しが悪くなりますので、重なり合った枝などは切り落として、なるべく風がよく通るようにしましょう。そうすることで生育もよくなります。

ゲッケイジュ(月桂樹)は常緑性の中高木で、暖かくて湿潤な気候を好む樹木です。葉は先がとがった楕円形をしていて、すばらしい香りがあります。この葉を乾燥させたものをシチューやカレーの香りづけに入れるのは、日本の家庭ではおなじみのことではないでしょうか。また古代ギリシャではゲッケイジュの葉で作った冠を英雄などに冠したところから現在でもスポーツにおいて、勝利者を讃え、月桂樹の冠が頭上を飾ります。